



# 就航先の声

東京、大阪、札幌周辺に現  
 在住まいの大館市出身のか  
 たちから、開港に向けてお祝  
 いの言葉をいただきました。

## 「航空券を 買いました。」



高橋 一三さん  
 (東台4区)64歳

Q 何便を購入しましたか?  
 往復の東京便を東京に住んでい  
 る息子夫婦のために買いました。

Q 開港をどう思いますか?  
 うれしいの一言です。息子たち  
 も開港を待っていましたから。  
 今までは東京まで車を使ったり、  
 青森空港や秋田空港を使ったり  
 していましたが、便が悪く時間  
 がかかるのでなかなか会えませ  
 んでした。でも、これからは私  
 たちも息子たちもお互いちよ  
 ちよく行き来できます。

Q 空港が動きだすと県北地域はどう変

## あきた北空港の開港によせて



神奈川県横須賀市在住  
 金澤 克介さん  
 (馬喰町出身)

「米代川流域は秋田杉の森林宝庫が多  
 く、私どもはそれらの山々を縫って北上  
 した。視界をつねに山壁がさえぎり、息  
 のつまる思いだったが、不意に鷹巣盆地  
 に出て、目の前が大きくひらけた。さら  
 に山中に入り、次に盆地をみたのが大館  
 だった。胸腔がひらける思いがした」。  
 これは司馬遼太郎の「街道をゆく」秋田  
 県散歩の行である。

しかし、ここに至るのにこのスピード  
 時代にしても、なかなか簡単にいかない  
 のである。私の場合、横須賀線で東京駅  
 に出て、東北新幹線を盛岡で降りて、高  
 速バスに乗って大館に着くのに八時間近  
 くもかかってしまうのである。これが、  
 あきた北空港が開港すると三時間で着

てしまうのである。ゴルフで豪快に  
 ショート・カットして、イーグルで上  
 がったようなものである。これで帰省の  
 回数も増え、滞在時間も長くとれること  
 になるので全く朗報だ。

「ともかく大館の町を歩きつつ思うの  
 は思うのは狩野亨吉のことである」。亨  
 吉は慶応元年、大館・三の丸で生まれ、  
 十二歳のとき東京に移住した。三十四歳  
 で第一高等学校校長に、それから初代京  
 都文科大学長となったが四十四歳で辞し  
 以降いっさい任官しなかった。司馬遼太  
 郎はこうした俗欲のない人が好きで、そ  
 の人の生まれ育ったところが見たいので  
 ある。「秋田魁新報」の名付け親が亨吉の  
 父良知であるが、魁新報社で活躍してい  
 る県北人を最近ほとんど聞かないのがい  
 かにも寂しい。

## 「あきた北空港」の開港に寄せて



神戸市西区在住  
 谷口 トク子さん  
 (板沢出身)

さあ！いよいよ七月に心待ちしていた  
 「あきた北空港」が開港です。長い間、  
 交通の不便だった北秋田地方が、これ  
 やつと全国の主な主要都市と短時間で結  
 ばれ、人と物、文化の交流が、これから  
 ますます盛んになってくるものと期待が  
 ふくらみます。遠く古里を離れ、関西に  
 住む同県人の一人として心からお祝い申



佐々木 毅さん  
 (葛原)  
 43歳

家族と休日、旅行するのに利用し  
 たいです。鉄道だと、寝台列車を利  
 用したりすると時間がかかってしま  
 います。飛行機なら早く移動でき  
 ます。さらに九州便なんかができ  
 らと思います。



津島 貴子さん  
 (御成町4丁目)  
 23歳

ちょうど友達が東京と北海道にい  
 るのでこれからは新幹線だけではな  
 く、飛行機を利用して会いに行くこ  
 ともできるようになります。大阪便  
 も使ってみたいと思っています。